

教育目標

(1) 本校の教育目標

思いやりがあり、心身ともに たくましい子

本校がめざす子ども像

- ・ 明るく、たくましい子
命を尊び、心や体を鍛え、強く生きぬく力をもった子
- ・ 素直で、きまり正しい子
礼儀や節度があり、心豊かな生活ができる態度や習慣を身に付けた子
- ・ 深く考え、進んで学ぶ子
基礎、基本を身に付け、課題を自ら見つけ、解決するために深く考える子

(2) 経営方針

ア 協働体制の経営

「子どもの姿」を中心に据え、中部小ワンチームで！！

- ・ 相互の信頼をもとにして共通理解を図り、組織的な協力体制をつくる。
- ・ 教師一人一人が明確な実践目標をもち、明るく活気に満ちた学校づくりをめざす。

イ 創意工夫のある教育活動の充実

- ・ 確かな学力をつけるために、わかる授業、楽しい授業を展開する。
- ・ 自ら学び、高め合う授業づくりを進める。

ウ 心身ともに健康で心豊かな子どもの育成

- ・ 基本的な生活習慣の定着を図る。
- ・ 礼儀正しく、他を思いやる心や態度を育てる。

エ 家庭・地域社会との連携

- ・ 情報を積極的に発信し、地域に開かれた学校づくりを進める。
- ・ 家庭・地域との連携を深め、地域の教育力の活用を図る。
- ・ 気持ちのよいあいさつを心掛け、あいさつが飛び交うコミュニティづくりをめざす。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 「全員参加の授業」の創造

「みんなで のびる」 ⇒ 「つなごう 中部っ子の宝」 ⇒ 「新たな挑戦 ！！」

- ・ 見つけ学習を基盤とした「聴き合い・学び合い」のある授業づくりを通して、主体的に学びを深める子どもを育成する。
- ・ 「わからない」が言える、「まちがえは、みんなの学びの一步」といった雰囲気のある、誰もが安心して学べる環境づくりに努める。
- ・ スピーチ活動を通して、多様な見方、考え方に触れ、仲間意識を高める。
- ・ ICTを活用した個別最適な学びと、協働的な学びを保障した授業を具現化する。

イ 自己有用感を育む多様な学年交流・地域交流活動の促進

- ・ 総合的な学習の時間や生活科等の学習や通学班・清掃活動において、学年を超えた子ども同士のつながりや地域の財（人・文化・自然）とのつながりを深める機会をつくる。
- ・ キャリア教育を通して、一人一人が役割をもち、主体性と自己有用感を高められるような活動を実施する。

ウ 個の成長と学級・学年集団の向上

- ・ 道徳科や特別活動を日常生活につなげ、心身の健康を大切にする子どもを育成する。
- ・ 行事・体験活動と各教科を結びつけた横断的な学習を展開し、本物に触れることで価値創造的な学びを推進する。
- ・ 子どもを語る会・教育相談を計画的に実施し、配慮の必要な子への理解と支援に努める。

(4) 多忙化解消に係る業務改善

ア 校務支援システムの活用の充実を図り、事務効率を上げ、在校時間の縮減をめざす。

イ 定期的に定時退校日を設定し計画的に業務を行うことで、在校時間縮減をめざす。

ウ 専門スタッフやボランティアの活用を図り、教員が本来の業務に専念できる環境づくりを進める。また、高学年を中心に教科担任制を導入することで、職員の専門性を生かしながら教材研究を有効的に実施できるようめざす。